

# 武蔵野



武蔵野支局 〒180-0006  
 武蔵野市中町1の13の1 3F  
 電話 0422(51)3131  
 FAX 0422(51)3133  
 musasino@yomiuri.com  
 都内版編集室  
 電話03(3217)1465・1466  
 江東支局 電話03(3631)6116  
 立川支局 電話042(523)4477  
 ホームページ  
 www.yomiuri.co.jp/local/

購読は **0120-4343-81**

【広告】読売Palette 03(6272)9027  
 【折込チラシ】 0120-03-4343  
 【読売旅行】 03(5550)0666

2月17日(木曜日)  
 旧 1月17日<大安>

通日 48	満潮 5.59
月齢 15.9	干潮 11.42
(正午)	(大潮)
日出 6.26	日入 17.24
日入 17.24	日出 6.57
月出 17.54	月入 6.57

**桐たんす**  
 単筒の松本  
 四谷本店に130種展示  
 フリーダイヤル 10年保証 0120-30-4440

坂口安吾(1906~55年)が1925年に就いた最初の職業は、荏原尋常小学校分教場(現世田谷区立代沢小)の代用教員でした。「本当の美しい魂は悪い子供がもっている。あたたいかい思いや郷愁をもっている」(「風と光と二十の私と」という考えを抱いたまま、元不良少年は武蔵野で先生になります。安吾は、エッセイの中で、私は二十の年に東京近郊の村落で小学校の先生をした。代用教員である。そこは今は東京都内の賑やかな市街地であ

## 文人の武蔵野

# 生まれ故郷と同等以上

## 坂口安吾 ②



代沢小には安吾の「人間の尊さは自分を苦しめるところにある」との言葉が記された碑がある(世田谷区で)

るが、当時はまったくの武蔵野。田圃と自然林の村落であった。「我が人生観(八)安吾風流譚」とよりかえり、「学校の近所には農家すらなく、まったくただひろびろとした武蔵野で、一方に丘がっらなり、丘は竹藪と麦畑で、原始林もあった」(「風と光と二十の私と」と記しています。つらなる丘には「原始林」もある「まったくの武蔵野」とは、下北沢周辺(荏原郡)を指します。徳富蘆花(1868~1927年)の武蔵野であり晴耕雨読の地であった粕谷(北多摩郡)の恒春園、やがて斎藤茂吉(1888~1953年)の武蔵野として生活拠点となる松原(荏原郡)や代田(同)とも互いに徒歩圏内にあり、その一帯は後に世田谷区になります。安吾のデビュー作「木枯の酒倉から」には、文学的な原風景としての武蔵野が描かれています。安吾の武蔵野は、そのように文学的に抽象化された場所である一方で、抽象化以前の実存的な武蔵野としても表象されています。安吾を育んだ武蔵野は、生まれ故郷としての新潟と同等かそれ以上の土地だったと言えます。

るが、当時はまったくの武蔵野。田圃と自然林の村落であった。「我が人生観(八)安吾風流譚」とよりかえり、「学校の近所には農家すらなく、まったくただひろびろとした武蔵野で、一方に丘がっらなり、丘は竹藪と麦畑で、原始林もあった」(「風と光と二十の私と」と記しています。つらなる丘には「原始林」もある「まったくの武蔵野」とは、下北沢周辺(荏原郡)を指します。徳富蘆花(1868~1927年)の武蔵野であり晴耕雨読の地であった粕谷(北多摩郡)の恒春園、やがて斎藤茂吉(1888~1953年)の武蔵野として生活拠点となる松原(荏原郡)や代田(同)とも互いに徒歩圏内にあり、その一帯は後に世田谷区になります。安吾のデビュー作「木枯の酒倉から」には、文学的な原風景としての武蔵野が描かれています。安吾の武蔵野は、そのように文学的に抽象化された場所である一方で、抽象化以前の実存的な武蔵野としても表象されています。安吾を育んだ武蔵野は、生まれ故郷としての新潟と同等かそれ以上の土地だったと言えます。

### おすすめの1冊

「風と光と二十の私と」(坂口安吾)  
 安吾の自伝的で哲学的なエッセイ集です。そこには、武蔵野における教員時代が「変に充ち足りた一年間」だったと表現されています。人の命令に服することができず、自分で自分に命じてそれに服することを喜びとする性質だった安吾は、満足捨てて、自己鍛錬の道に進みます。



(講談社文芸文庫)

す。  
 (武蔵野大教授、むさし野文学館館長・土屋念)